



2020年8月6日

各 位

株式会社エー・アンド・デイ  
 代表取締役執行役員社長 森島 泰信  
 (コード番号: 7745 東証第一部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員管理担当 伊藤 貞雄  
 電話番号 048-593-1111

## 2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月20日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」において未定としておりましたが、2021年3月期の業績予想及び配当予想について下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	43,700	1,130	1,070	560	27.15
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	49,197	3,700	3,432	1,576	76.88

### (2) 公表の理由

「2020年3月期 決算短信」公表時には、新型コロナウイルス感染症の世界各国における感染状況や経済活動に係る見通しが極めて困難であったため業績予想の開示は差し控えさせて頂きましたが、当第1四半期連結会計期間の業績が確定したこと、また我が国をはじめ世界各国においてもコロナウイルスとの共存を前提に経済活動が再開されていることを踏まえ、今般業績の見通しを開示させて頂くことといたしました。

今後の見通しにつきましては、日本、海外ともに、eコマースの販売チャネルを中心としたテレメディシンや家庭向け健康機器の需要が見込める一方、企業や医療機関、研究機関等の設備投資需要は冷え込むものと見込まれます。事業別の見通しについては下記の通りになります。

#### ① 計測・計量機器事業

DSPシステム、計量器におきましては、導入に係る緊急性が低いことからユーザーからの受注が先送りされるケースが目立っていること、営業活動や納入に係る設置据付についても制約を受けていることから、特に国内市場において苦戦が見込まれますが、テレワーク等の手段も併用してユーザーとのコミュニケーションを図り、ニーズに応えるよう努めて参ります。

半導体関連事業におきましては、連結子会社である株式会社ホロンと当社のシナジー効果を発揮し、当面好況が見込まれる半導体市場に対して業績の拡大を目指して参ります。

#### ② 医療・健康機器事業

医療用の計量器や血圧計については、医療現場の状況がひっ迫していることから当面の設備導入需要は減退しており、この状況がもうしばらく続くと見込まれます。家庭向けの健康機器につきましては、新型コロナウイルス感染症への対応のため、テレメディシンや家庭向けの血圧計、非接触型の体温計等へのニーズが高まっていることから当面好調に推移するものと見込まれます。

なお、業績見通しで前提とした為替レートは1米ドル108円、1ルーブル1.5円であります。

## 2. 配当予想について

### (1) 2021年3月期 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭

### (2) 配当予想の公表理由

通期業績予想の算定が困難であったことから配当予想についても公表を見合わせておりましたが、今般、業績予想の公表に合わせ、上記の通り公表致します。

(注) 上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上